

## 男女共同参画推進連携会議のチーム活動（2023～2025期）について

### 1. 基本的な考え方

- 全国津々浦々、各界各層の代表をメンバーとする連携会議の強みをいかした分野・業界横断的かつ様々な立場の方が参加する取組が望ましい。
- その上で、テーマは有識者議員の知見・専門性、団体議員の関心等を踏まえて選定することが必要。

### 2. 今期のチーム活動について

- 有識者議員の継続性（14名中13名が再任）、連携会議加盟団体の構成等も踏まえ、基本的にはこれまでの枠組みを踏襲し、「若年層」、「経済分野」と大まかに2つの分野に取り組むチームを設けることとしてはどうか。

### 3. 各チームの活動について

- 資料2（1）、資料2（2）参照

### 4. 本日の検討事項

- 各チームの取組内容について、企画委員会としての方針決定
- 各チームの名称検討
- 正コーディネーター・副コーディネーターの決定

#### 【参考1】全体会議日程

11月15日（水）13：00～15：00@オンライン

#### 【参考2】前期（2021～2023）のチーム活動の成果等

- ◆若年層に対する性暴力の防止・啓発チーム（若年層）
  - ・啓発動画を作成（デートDV、男性の性被害、デジタル性暴力、性被害の相談）。SNS広告を活用した啓発、男女局の啓発において動画を活用
- ◆業界における女性の活躍促進チーム（経済分野）
  - ・メディア業界トップ（4団体）に対するインタビュー（業界内の意識変革）
  - ・大学業界（教員・研究者）における取組促進のためのチェックリストを開発。他業界との連携促進及びチェックリストの普及を目的としたオンラインフォーラムを開催するとともに、大学のジェンダー平等に関する見解の取りまとめ
- ◆男女間賃金格差情報開示チーム（企画委員会直轄）
  - ・女活法に基づく省令改正に際し、政府の取組に賛同を示すとともに、今後、取り組むべき課題を提案